

阪神高速3号神戸線、140日の工事を通行止めで10日間に短縮

5/18(土) 8:00配信

 **Lmaga.jp**
関西を24時間365日ウェブマガジン



阪神高速 3号神戸線 湊川～京橋
間の空撮 画像提供：阪神高速道
路

阪神高速道路（本社：大阪市中央区）が、阪神高速3号神戸線の湊川（神戸市長田区）～京橋（神戸市中央区）間の上下線約6.3kmを5月24日から6月3日まで終日通行止め。高速道路の長寿命化に向けたリニューアル工事が実施される。

【画像】リニューアル工事の通行止め区間や迂回

ルート

開通から約50年経ち、老朽化による鉄筋コンクリート床版などの劣化が進んでいる同路線。今回、床版の高性能な防水処理をはじめ、高吸音で高排水の舗装を導入し、床版の長寿命化対策を施す。

この工事に伴い同区間は、24日・早朝4時から6月3日・朝6時まで終日通行止め。同社は、「混雑が予想されることから、お車のご利用をお控えいただくか、迂回ルートのご利用、ご利用時間帯の変更をご検討いただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします」と呼びかけている。

同路線は2009年にフレッシュアップ工事を実施したが、舗装やジョイントの損傷が多く発生し、最近では緊急工事が多発。「特に、鋼床版の溶接部に亀裂が発生しており、大規模修繕事業において早期の着手が必要」と判断し、車線規制でおこなうと約140日を要するところを10日という短期間で工事する予定だ。

この時期におこなうのは、交通量が比較的小さいこと、品質管理上適当な気温であること、降雨が比較的小さいことなどを考慮し判断。「安全性、走行性のさらなる向上に向け、全力をあげて取り組んでまいります」という。なお、今回の工事に合わせて、31号神戸山手線（神戸長田～湊川）の上下線も通行止め